

場所	分類
原子炉建屋内 RB	
タービン建屋内 TB	
R ZONE R	
Y ZONE Y	
G ZONE G	
その他 () Z	
	RB 7
	1 時間 2 距離 3 遮へい 4 線源の除去 5 遠隔、ロボット化 6 汚染拡大防止 7 その他

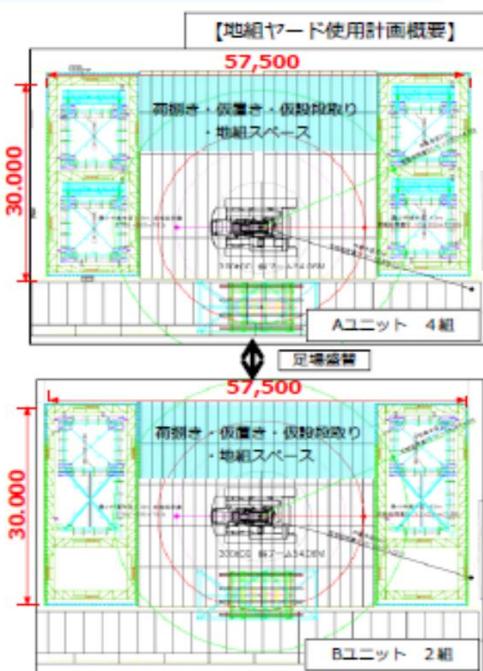
被ばく低減対策好事例集

内 容	プレハブ工法を採用した構台鉄骨組立て		
作業部位	海水ポンプエリア ⇒ 2号機原子炉建屋周辺		
概 略	低線量率である海水ポンプエリアで構台地組を行い、その後スーパークリアを使って2号機原子炉建屋まで運搬した。		
評 価 ・定量	効 果	対策前	対策後
		被ばく線量(mSv)	3,907
		人工数(人日)	--
事例詳細			

対策前 原子炉建屋周辺および屋上は比較的高線量率であるため、多くの被ばくが懸念された。

対策内容 低線量率エリアで構台組立を行い、その後2号機原子炉建屋まで移送し、組立時の被ばくを低減した。

構台地組⇒移送計画



低線量エリアで構台鉄骨の地組を行い、設置する原子炉建屋まで運搬・移送し、大型ユニット化工法により無駄な線量被ばくを低減を実現

